



遠くに見える春霞の山々の中に、山桜の花が映えています。
 新しい年度が始まりました。令和5年度は「和顔愛語(わげんあいご)」に加え、「抱っこ」をテーマとして、お子さんの自主性と思いやりを育ててまいります。

さて、この園通信の名前は、「あいご」です。この「あいご」とは、前述したキッドワールドの保育理念「和顔愛語」からとった言葉で、いとい語り、つまり、こどもに対して愛情をこめて優しく語りかける、といった意味合いがあります。職員一同、園児一人一人に対して愛情をこめて語りかけ、一人一人が今を最も良く生き、それぞれの子どもが輝く存在になるよう育てていきたいと思っております。保護者の皆様へは、安心と満足、そして子育ての喜びを共有できるよう、職員一同教育・保育に励んで参ります。1年間、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



お知らせ

<4月の予定について>

月	日	曜日	内容
4月	10日	～	身体計測週間(3歳以上児)
	14日	金	進級式、お見知り式
	17日	～	身体計測週間(3歳未満児)
	22日	土	お弁当日
	25日	火	誕生会、健康診断

<令和5年度の行事予定について>

年間の行事予定については、右の表のとおりです。

新型コロナウイルスが5月8日より第5類に変更されることから、行事への取り組みや開催も以前のように行っていきたく考えています。日程が決まっているものについては、都合により変更することがあります。その場合には、決まり次第速やかにお知らせするようにいたします。

<電話連絡について>

当園から、保護者の皆様へ連絡をするときは、園の携帯(090-5476-8600)から連絡をいたします。

また、欠席連絡は、ハグノート(hugnote)が便利ですのご利用ください。

年間行事予定

月	日	(曜日)	内容
5月	中旬		歯科検診
	27日	土	保育参観(3歳未満児)
6月	3日	土	保育参観(3歳以上児)
7月	3日	月	プール開き
	7日	金	七夕集会
8月	7～10日		保護者保育体験
9月	8日	金	プール納め
10月	中旬		歯科検診
	28日	土	運動会(3歳未満児)
11月	4日	土	運動会(3歳以上児)
	13日	月	保育参観(3歳未満児)
	20日	月	保育参観(3歳以上児) 年長児思い出ツアー
12月	22日	金	クリスマス会
	28日	木	年おわり式
1月	4日	木	年はじめ式
	12日	金	かるた大会
	15～19日	月～金	保護者保育体験
	27日	土	発表会ごっこ(3歳未満児)
2月	2日	金	まめまき
	17日	土	発表会(3歳以上児)
3月	4～8日		保育参観週間
3月	中旬		おわかれ会
	23日	土	卒園式
	29日	金	おわり(修了)式

キッドワールドこども園の基本理念「和顔愛語」と保育目標を立てています。

1. 基本理念「和顔愛語」…優しい表情とやさしい語りかけでお子さんに関わっていきます。
 2. 年間テーマ……「抱っこ」:園児の情緒の安定を一番に考え、保育教諭がたくさん思いやりの心をもって園児を抱きしめ、園児の思いやりを育てていきます。
 3. 保育目標
 - ① より良い環境の中で、一人一人の子どもが自主性を持ち、思いやりのある人間に成長するように配慮して保育を行う。【優しい子ども】
 - ② 子どもが自ら興味を示し、好奇心を満たすことが出来るように配慮して保育を行う。【好奇心豊かな子ども】
 - ③ 子どもたち一人一人の発想や意欲を大切に、自ら学ぶことのできる自立した子どもを育てる。【自分から取り組む子ども】
 - ④ 食への興味を高めることで、楽しく食事ができる子どもを育てる。【食事を楽しめる子ども】
 - ⑤ 自らの健康や安全に対して、関心が持てる子どもを育てる。【元気な子ども】
 - ⑥ 様々な経験を積み重ねていく中で、危険を予測し回避する力が身につく子どもを育てる。【自分を守ろうとする子ども】
- ※ キッドワールドセカンドこども園では、園生活を過ごす中で①～⑥までの育てたい子ども像を立てています。

さて、令和5年度の取り組みについて保護者の皆様にお伝えいたします。

1. 地域に求められるこども園づくり

様々な家庭の就労や暮らしを支えるための0歳児保育の実施や延長保育、産前産後休暇明け保育、特別支援教育・保育の実施、一時預かり保育事業(一般型、幼稚園型)を実施することによって地域の子育て世帯を支援していきます。

2. 異年齢交流について

今年度より、異年齢保育のクラスから同一年齢のクラス運営となりましたが、異年齢交流の日や週、園外保育、おまつりごっこなどの行事をとおして、共に育ち、学び合いながら、豊かな体験を積み重ねることができるように年間の計画を立てています。

3. 安心して子育てができる関係づくり

学生ボランティアを積極的に受け入れ、次代の子育てを担う人たちへの育成機関として、街づくりに少しでも貢献できるようにしていきたいと思えます。

4. インクルーシヴ保育を目指した教育・保育

すべてのお子さん一人一人の姿を理解し、多様性を認め、合理的配慮のもと、それぞれの生きる力をはぐくんでいきます。

5. 保育教諭の資質の向上

下の5つの委員会の委員長を中心として活動します。全ての委員会の副委員長に主幹保育教諭を据え、適切な運営を補完します。様々な視点から教育・保育の在り方を検証し、職員の資質向上に努めます。

- ・ カリキュラム委員会
- ・ 安全対策委員会
- ・ 保健衛生委員会
- ・ 食育委員会
- ・ 研修委員会

